



SDGs時代の パートナーシップ

～未来共創新聞をつくり、つなげる～

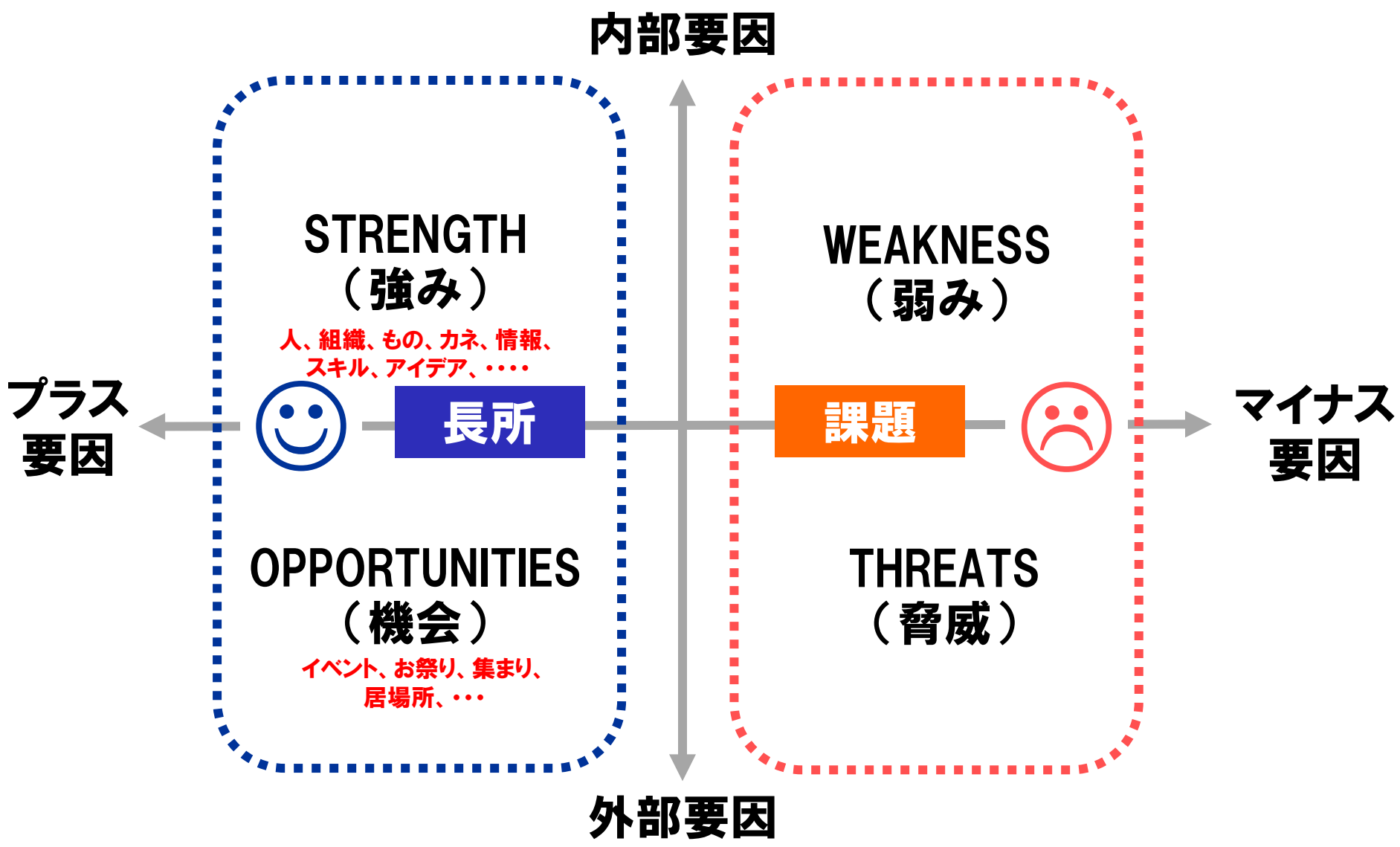
@ZOOM

2021年11月27日(土)

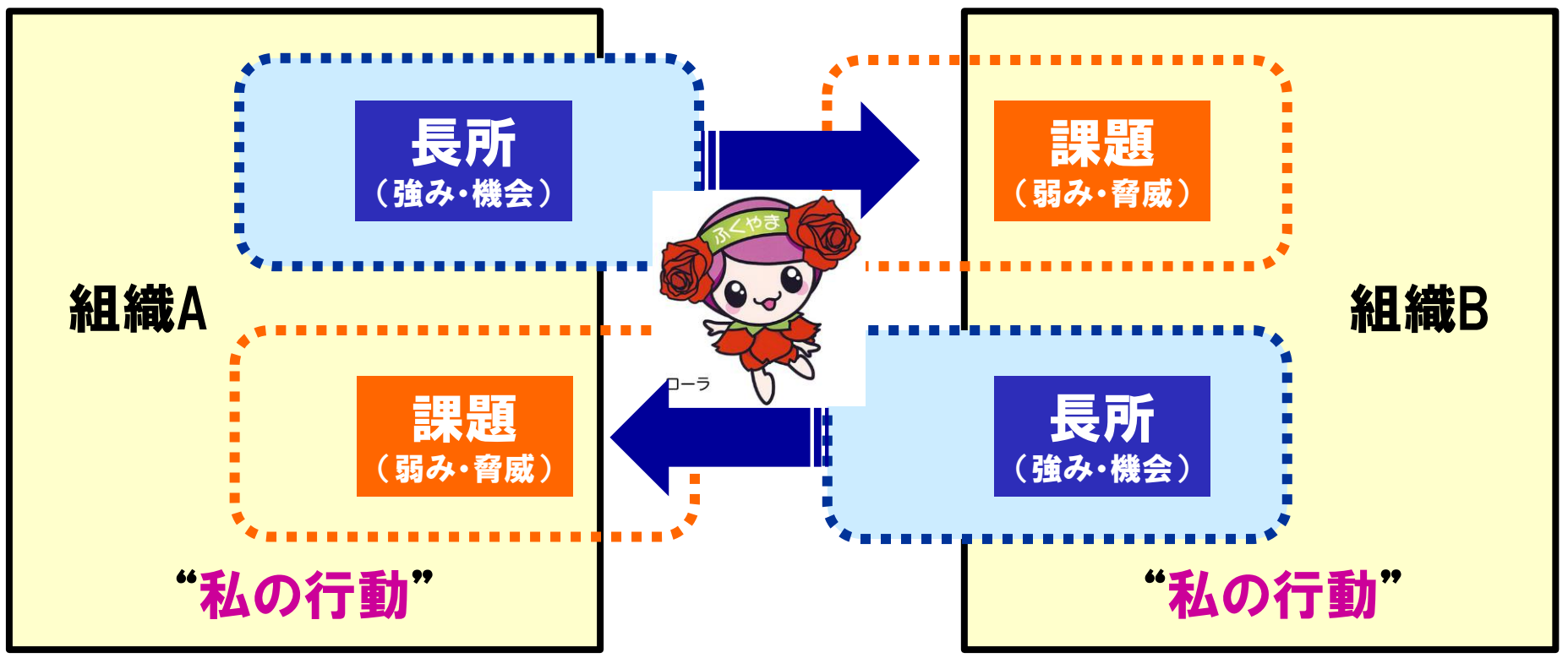
佐藤真久

東京都市大学大学院 教授

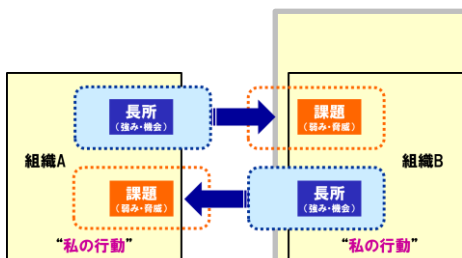
m-sato@tcu.ac.jp / masahisasato@hotmail.com



お互いの長所と課題の組み合わせ ～力を持ち寄る協働による課題解決



力を持ち寄る協働
“私たちの協働”



力を持ち寄る協働
“私たちの協働”

地域の社会課題解決



① **長所(強み・機会)、課題(弱み・脅威)を出し合い、力を持ち寄ることで、社会課題解決につなげる。**

→「私の行動」から「私たちの協働」への発想の転換
→求援力・受援力の発揮

② **立場・所属が異なれば、異なる動機がある。初めからすべての合意形成をせず、星を見る。**

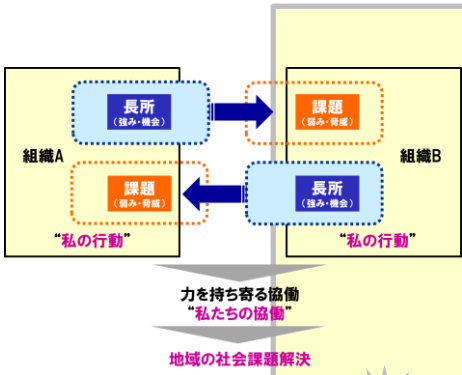
→「向き合い型の協働」から「星見型の協働」への発想の転換

③ **未来に向けて、他者と力を持ち寄ることによって、社会課題解決に貢献するストーリーを記事にする。**

→(5W1H)誰が誰と、どのように、なぜ、だんだんとどう変化してきたか、何をしたか、どう変わったか？

→大見出し、写真・図を挿入

→大見出しは結果！(10文字以内)



①SDGsの特徴:

- 複雑な問題への対応(同時解決性、テーマ統合性)
- 社会包摂的世界観
- 地球惑星的世界観
- 変容の世界観

②SDGsの本質:変容

- 変化(リスクと機会)を先取り、今できることで投資的に動く

③そのほか配慮事項:

- 日本の社会課題との関連づけ、内発的動機(SDGsの自分ごと化)
- 目標としてのSDGs、ツールとしてのSDGs
- 外から目線(アウトサイド・イン)
- 星見型の協働(ビジョン構築、バックキャスト、異質性の協働)
- ストーリー(協働・学習プロセス、個人と社会の変容)
- 問題解決の姿(社会生態系の構築)
- 求援力と受援力





②実現可能性
3年後の実現が
具体的で可能か？

②システム思考

実現可能性

互いの力を活かし、
ありたい姿へ近づく

福山未来共創新聞

3年後の未来像

- 5W1H
- 大見出し(結果)
- SDGsの本質(同時解決性、力を持ち寄る協働、変容)

ありたい姿



革新性

ありたい姿から
イメージする

①デザイン思考

①革新性

SDGsの本質に
対応しているか？

現在の姿

